

中・高齢者の為のマナトモ大学で生涯学習をたのしもう

取材日：平成22年（2010年）11月14日

【活動目的】

中・高齢者に“共有の学びの場”を設け“共有の価値観・思考”を育みながら、生きがい、地域社会・街づくりの充実・貢献を図る。中・高齢者の強みに目を付け強みを見出し、強みを強くすることを目標とする。

【支援金事業】（支援対象経費総額 360,078 円 支援金確定額 180,039 円 支援率 50%）

2011年4月開校を目指してNPO社会生涯大学「船橋マナトモ（学友）大学」のプレ事業を行う。

終了した今年度の活動内容

- 1 6月25日に第一回プレ通常教室を男女共同参画センターで行なった。内容は健康づくり学科の整体教室で「自分のパワーポイントを活かす」として参加者は58名であった。
- 2 7月25日に第二回プレ通常教室を薬円台公民館にて行った。内容は前回と同じ「自分のパワーポイントを活かす」で、44名の参加者を得た。
- 3 8月29日に第三回プレ通常教室を薬円台公民館にて行った。内容は人生学科夏季シンポジウム「ラストステージをどう迎える！」で参加者73名を得る。
- 4 第四回プレ通常教室は9月26日に薬円台公民館にて開かれた内容は健康づくり学科整体教室の【誰でもできる自分・家族の整体教室】44名参加。2011年3月までに今後数回のプレ通常教室を開いて2011年4月の本開校に備える計画。

→2011年4月本開校を計画していましたが、体制の充実が不足し、しばらくの間、本開校を延期して、プレ事業を続けることになった。



第2回プレ通常教室



第3回プレ通常教室

【活動の現場から】

平成22年11月14日（日）薬円台公民館にて健康づくり学科整体教室が行われたので参加、及び取材した。題目は「健康と美容づくりの整体教室」として上記と同様、西川則雄理事長が講師を務めた。

参加は事務局を含めて14名で、初参加が3名、4回目が1名であった。東洋医学をすすめる内容で、ユーモアのある楽しい語り口で和気あいあいの教室でした。講義ばかりでは飽きるということで実技を沢山取り入れ工夫していた。半数ほどの参加者が実際にやってみて、満足した模様であった。腰痛に関しては、昔から知られたゴムなわを腰に巻いて腰回しをする方法をみなで実演し、両手振り体操は全員で楽しく実施した。



健康づくり学科整体教室

【西川理事長へのインタビュー】

- 1 学生集めには苦労している。主にシニア・システム協議会催事参画者200名へのDMや、地域情報紙への投稿などで募集している。
- 2 来年4月の本開校へ向けて300名の目標が11月1日現在まだ40名。
- 3 大学のカリキュラムは明確になってはいないが、得意分野は高齢者の課題・整体術・無駄な延命治療と高齢期の生活・他企業との協働など。
- 4 組織的、計画的事業として展開するだけの資金力、人員力が足りない。手当てを払って実務担当者を集めることができない。

関わり先（連絡担当者） NPO法人 シニア・システム協議会 理事長 西川 則雄 Tel：047-469-3651
